2 年	〈この時期のめあて〉 進路実現へ向け、目標を設定し、自ら考え学習に取り組む 〈家庭学習時間のめやす〉90 分～120 分

〈家庭学習のポイント〉
・授業の復習を大切にしよう
・分からないままにせず、理解できるまで粘り強く学習に取り組もう
・計画的に継続して取り組もう

	学校での学習内容	家庭学習の方法や内容
国語	・詩 ・物語的文章 ・説明的文章 ・漢字 ・文法	・詩の形式や文章を読む上での表現技法等、忘れずに記述・記憶する。 ・分からない語句は辞書を使って自分でこまめに調べる。 ・漢字を覚える。 ・1 年生の文法を復習しておく。
社会	歴史（安土桃山～明治） 地理（日本地理）	・分からない内容を分からないままにしない（資料集やインターネットの活用、教師に質問するなど）。 ・その日学んだ内容を復習するために、こまめにワークの問題を解く。 ・教科書の太字で書かれた重要語句は、何度も書くことで覚える（誤字を防ぐ）。 ・インプット（読む・見る・聞く・覚える）だけでなく、アウトプット（書く・説明する・表現する）も行う（他の人に説明することで、自分がより理解できる）。
数学	式の計算，連立方程式，一次関数，図形の調べ方，図形の性質と証明，確率，箱ひげ図とデータ活用	・授業で学習した内容をその日のうちにワークを使い復習する。（その際，分からない問題に関しては，答え等をすぐに見るのではなく，ノート・教科書等を見て考えてみる。） ・理解できているものとできていないものを選別する。 ・理解できていない問題に関しては，時間をおいて一人でできるようになるまで繰り返し行う。
理科	・地球「生きている地球」 ・物質「化学変化と原子・分子」 ・生命「動物の生活と生物の進化」 ・地球「地球の大気と天気の変化」 ・エネルギー「電流の性質とその利用」	・授業で学習した内容をその日のうちに「理科ノート」の偶数（左）ページを使い復習する。 ・週末はワークを活用（テスト前でなくても習ったところまで各自でコツコツ進めて OK）。1 回目は「学習ノート」に解き、間違えた問題はワーク本誌にチェック→別の紙やノートに何度も解く。ワーク本誌に直接書き込んで解いても OK。とにかく何度も繰り返し解く。 ・わからないことをそのままにせず積極的に質問する。
英語	・一般動詞・be 動詞の過去形 ・過去進行形 ・未来を表す表現 ・動名詞 ・不定詞 ・比較 ・受け身形	・単語や熟語を発音しながら何回も書いて覚える。 ・教科書の音読を繰り返す。 ・ワークや問題集、プリントは繰り返し問題を解き、間違いがなくなるように何度も練習する。 ・英語の物語などを読んで、長文に慣れ親しむ。 ・ラジオ、CD、テレビ、インターネットなどで英語を聞く機会をできるだけ多く持つようにする。